

お家で
読もう!

4月23日は子ども読書の日。新型コロナウイルス感染症予防のために、それぞれが工夫しながら懸命に暮らしている日々。大人も子どもも、不要不急の外出を控えるようにしている中で、心が不安定になる人もいるのではないのでしょうか。こんなときこそ、ホッとしたり、心が穏やかになったりする本を開いてみてはどうでしょうか？

学校司書から“お家で読もう！”という本を紹介させていただきます。

絵本にも、絵と言葉で、おもわずページをめくる、心を揺さぶる力があります。

まずは、はりねずみの朝をつげる言葉ではじまります。

あたらしい あさです。

しろいくもが うかんでいます。

きのうと おなじくもではありません。(中略)

きょうは どんどんすぎていって すぐにきのうに なってしまいます。

そして あしたが きょうに なっていく。(中略)

きのうは すぎさってしまいました。もう かえってきません。

そして あしたのことは だれにも わかりません。

じぶんを かえたいと ほんきで おもっているのなら

ゆうきをだして かわれば いい。やりなおすチャンスは まいにちやってくる。

はりねずみは、じっくりプレゼントを用意してくれています。

読んでみませんか？

『まいにちがプレゼント』
いもとようこ 作絵
金の星社